

■ Interview

昨年度、同事業を活用した
特定非営利活動法人 奥州・いわてNPOネット



左手前から、「NPO・ナイスミドルネットワークスラン」事業に参加した渡邊敬子さん、理事長の佐藤隆さん、理事兼事務局長の菅原恵子さん、スタッフの皆さん

菅原さん…昨年度 124 票の投票を受け、中高年世代向けパソコン講座（全 4 回、インターネットと電子メール中心）と、NPO 団体や企業、行政機関などの交流会を開催しました。事業には、10 代から 70 代までの幅広い年代の人の参加をいただき、有意義なものになったと感じています。また、スタッフの指導力アップにもつながったようです。わたしたちは中間支援 NPO といって、NPO 活動をコーディネートする役割もあります。事業では他の団体や高校生をはじめ、多くのボランティアに協力をもらうことができました。

渡邊さん…家族共有のパソコンは、いつも夫が使っています。面倒そうとも感じていましたが、これからの時代の必需品と思い受講し、インターネットと電子メールは覚えることができました。ことしもすでに事業に応募した団体からの呼び掛けもあり、投票しようと思っています。

佐藤さん…0.4% 支援事業によって、市民団体が自立に向け積極性を持てるようになったことが良かったです。住民参加の素地はまだかもしれませんが、参加団体が増えることで盛り上がっていくものと思います。

4 月 9 日発行の広報おしゅう 4 月号と一緒に 21 年度「市民が選択する市民公益活動団体支援事業」【0.4（オーシュウ）% 支援事業】の特集号を配布しています。

「0.4% 支援事業」は、社会貢献活動を行う市民公益活動団体（特定非営利活動法人

やボランティア団体など）が自ら企画・実施する事業を、市民の皆さんが投票を通じて応援する制度です。投票 1 票につき 500 円が、市民公益活動団体に交付されます。

投票の締め切りは、5 月 8 日昼です。まだ投票が済んでいない人は特集号をご覧の上、

忘れずに投票をしてください。

投票用紙は、特集号の裏表紙に印刷されています。

※投票用紙を紛失した人はお問い合わせください

■問い合わせ先 本庁まちづくり推進課市民活動係（内線 313、314）

あなたはどの事業を応援しますか？

5月8日金までに投票を

あなたの 1 票が市民公益活動団体の支援につながります



投票用紙が同封の特集号